

## 職員 自己評価 結果公表



事業所名

NPO法人コミュニケーション・アシスト・ネットワーク  
ひなたぼっこ

HP公表日

2025年12月16日

時期:	2025年10月14日～11月31日	職員 討	2025年12月14日
対象:	直接支援職員8名(常勤5名、非常勤3名)。以下の職員は除いた(9月末に採用した非常勤児童指導員、及び非常勤事務職員)		
方法:	職員にアンケート用紙を手渡し、無記名で記入、回収した。その後、管理者(代表理事)が開封・集計した		
集計:	評価は8項目について4段階で評価してもらった。それを点数化(3、2、1、0点)し集計した。項目ごとの合計点は3点×8人=24点が最高になる。最低は0点になる。個人ごとの合計点は3点×14項目=42点が最高になる。Excelのピボットテーブルを使って分析した。 また、各項目ごとに自由記述欄を設けた。その記述を結果にまとめた。		

### 回収結果

依頼数	8	人
回答数	8	人
回答率	100%	

### ○ 職員自己評価 結果

- ・個人ごとの得点は42点満点で、平均33点であった。保護者評価38.7点だったので、それに比べて職員の自己評価はやや低い。
- ・項目ごとの得点は、24点が満点となる。その中で、  
得点が高いのは、「教材の工夫」21点と「職員の専門性」23点であった。  
得点が高いのは、「事業所としての情報発信」8点と「保護者同士の情報交換」11点であった。  
得点が高い項目と、低い項目の傾向は、保護者評価と同じになった

○ 職員自己評価 今後の取り組み

	事業所の強みだと思われること 工夫していること意識的に行っている取組	さらに充実を図るための取組等
1	教材や遊具に工夫がこらされていると思う	現在の方法を継続する
2	職員に専門性があると思う	事業所の継続性を見越して、来年度職員を1名求人する。その時も有資格者を求人する。

	事業所の弱みだと思われること 事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組等
1	紙の通信やHPなどで、事業所として十分な情報発信ができていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひなたぼっこは保護者送迎・同席、1時間利用が基本の形だが、放デイになると保護者は送迎だけして同席しないケースも増え、その場合活動の様子が見え地内。そこで同席しない利用者の保護者に対して適宜LINEにて本人の活動中の写真を1枚送る。</li> <li>・HPを更新し、情報発信を強化する。</li> </ul>
2	保護者間で育児の悩みや情報交換をする機会が、提供できているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひなたぼっこは複数児童でのグループ活動をしているので、その機会に保護者同士話をする機会はあるが、個人情報にふれることなので、事業所側からその時積極的に情報交換を勧めにくい。人によってはその場でよくお話しされる人たちもいるし、あまり話したがるなような人もいるが、様子を見ながらお喋りを勧めてみる。</li> <li>・「保護者のつどい」は毎年2~3回企画して希望者を募ってきたが、参加申し込みが1~3名程度と少ない。希望する曜日についてアンケートを取ってみると、やはり土曜日が一番多かったので、土曜日に設定しているが、希望者は少ない。昨年は「強度行動障害」をテーマにして、関係しそうな保護者にだけ案内したが少なく成立しなかった。今年は行事的な要素を入れたが、参加者は少なかった。</li> <li>・「保護者のつどい」年間2回を継続していく。1回目は6月で、就学をテーマにする。2回目は11月で、行事的要素（自家菜園での焼き芋、キーウィ狩り、ミカン狩り）を取り入れる。</li> <li>・「保護者のけいじばん」を活用する。</li> </ul>